

一般質問 《要旨》

第1回定例会では、3月1日、2日、5日の3日間にわたり20人の議員から一般質問が行われました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。



宮坂良子

生活保護引き下げ撤回で憲法の生存権の保障を

問 生活保護は生存権の権利①市の認識は②資格がある2割しか利用していない。恥の意識解消の取り組みを③権利であることを市民に明らかにし周知を④保護費引き下げでは生活できない。国へ撤回を要望して。

答 ①生存権の基本理念に基づき市民の権利保障に努めたい②懇切丁寧な対応に努める③窓口パンフレットを設置している④現段階では考えていない。物価の動向等を見極めながら対応。

低所得者へ介護保険料軽減で利用できる保険に

問 総合事業の報酬減で事業所は困難になった①訪問型・通所型Aの報酬の引き上げを②ボランティア主体の訪問型Bの研修を③低所得者は保険料の値上げで利用できなく重度化に。段階を増やし負担軽減を。

答 ①報酬単価を見直し引き上げた②委託事業者から意見を聞き検討③高齢者の増加に伴い社会保障関係費が増加。介護保険制度の持続可能性の観点から低所得者にも一定の負担をお願いせざるを得ない。



西村あつ子

市長の政治姿勢と市政運営について

問 ①庁内でのセクハラ行為について②把握は③事実確認し謝罪したのか④処分は⑤行為者は市長だと複数女性の証言を得ているが⑥職を辞すべき⑦市長が公用車⑧東京モーターショーや美術館への使用は公務でない⑨西東京市長選挙中に候補者の選挙事務所への使用は公務でない⑩市長交際費⑪予算を流用している。委託業者等への手土産代は公私混同⑫東京都への手土産代は行政を歪めるもの。

答 ①黒塗りの文書で知っている②公開文書にあるとおり③処分にはなっていない④心当たりのあるものはない⑤仮定に基づく質問に答えることはできない。⑥招待状が来て、それに応えたもの⑦公約の中に狛江市との関係を含めてもらう意見交換のため。⑧その時々で必要なものを交際費に含めている⑨それは違う。気は心というところもある。他に、ひとり親家庭の調査報告書の課題を質問

市民センター増設案はCLT木造縦増築案検討を

問 ①市民の会からのCLT木造縦増築案の提案は、地震の横揺れ等にも十分耐えられ、市の調査より低コストで工期も短いとしているが②専門家が出した結論は検証に値する。市としても今回提案の検証を。

答 ①技術的課題等解消に相当量の補強工事が必要との市の調査結果から、CLTでも同様の補強が必要と認識②明らかに補強せず増築できるとの構造計算書等がないため検討段階にないが、話し合いは続ける。



田中智子

多摩川住宅の建て替え問題く市ができる支援を

問 ①多摩川住宅建て替えの地区計画が決定した。開発基本協定の課題は②旧4小跡地は子育てや高齢者施設が必要と思う。早急に検討を③高齢化の中、資金や引っ越し問題は切実。市としてできるだけの支援を。

答 ①自主管理公園の整備、維持、防災に強いまちづくり等②現行の公共施設整備計画後の計画を策定する中で検討したい③都への働きかけや相談窓口の体制を検討する。



鈴木えつお

子どもたちが元気に通える学校へ就学援助拡充を

問 ①卒業アルバム代、クラブ活動費、PTA会費等を就学援助の対象にすべき②保護者・教員向けの制度説明会を実施すべき。

答 ①卒業アルバム代は他市の状況を踏まえ検討。クラブ活動費等は他市の動向に注視②学校や校長会を通じて周知を図っている。明るく住みよい南部地域のために①猪駒通りの改修を②こまバスと路線バスのダイヤの重なる改修を③世田谷通り高架下駐輪場

保育環境の充実について

問 ①今年度保育園の申し込みがピークとなる根拠は②今後も待機児対策報告書は作るのか③学童の施設整備計画の見直しが必要では④学童の受け入れ時間の前倒しの検討を⑤給食費の負担軽減の検討を。

答 ①平成29年度が0歳児のピークでその後減少と推計②現在のところ未定③待機児対策検討報告書の学童編の作成に向けた作業を進める予定④方策の検討に時間がかかる⑤国で取り上げられており動向を注視。



岡村しん

岩戸北丁目周辺地区計画について

問 ①電力中央研究所敷地の高さ規制の緩和の理由は②20mの高さ規制の緩和は8割以上の住民が反対。必要ないのでは③都道3・4・4号線の現状は④公園整備の協議状況⑤一中通り電研側歩道の早期整備を。

答 ①外周部の高さ制限や緑地等確保による緩衝効果で、住環境の調和を図る②中高層と低層地区の調和のための検討事項③都の動きはない④電力中央研究所と協議中⑤平成31年度中の通行を目指す。



小野寺 克己

教育と心のケアにマインドマップの活用を

問 ①マインドマップは思考を整理するツール。活用について何う②発達障がいの方はマインドマップを書くことで劇的に生きづらさを軽減でき、悩みや不登校の未然防止にも有効。活用について何う。

答 ①子供たちが汎用的な活用できるようにすることが重要②効果を発揮した実践事例等を特別支援学級担任連絡会や教職員の特別支援教育研修会で共有する。

行政情報の管理及びセキュリティについて

問 ①情報セキュリティポリシー遵守の検証結果は②情報セキュリティ対策の基準の見直しも必要では③情報システムに関する業務継続計画策定についての考えは④公文書の適正な管理をどう検証しているか。

答 ①原則年1回以上、自主点検することになっているが確認はしていない②総務省の改定に合わせ早急に検討③早急な復旧に有効と認識。状況を見つつ検討④監査を行い、結果を行政不服審査会等に報告し公表。



石川和広

誰もが安心して暮らしたい。続けられる狛江の実現へ

問 ①狛江市の発達障がいのある方への切れ目のない支援・サポートの体制は②自閉症・情緒障がいの固定学級の開設が進められているが、対象となる児童・生徒の基準等の課題への認識とその対応は。

答 ①人生の様々なステージでの相談のほか、社会福祉協議会の事業や民間事業者による福祉サービスを実施②専門家の丁寧な相談、保護者等に特別支援教育を理解いただき、ぶれない入級や通級を実施する。

大規模災害に備えた地域防災力・減災力の向上を

問 ①大規模災害時に限って出動を求める「大規模災害団員」の創設・推進について何う②雨水貯留タンクを設置し災害用マンホールトイレの水として利用することについて何う。

答 ①出動制限はあるが、団員として活動するには相応の訓練が必要なこと、現消防団員との整理等課題がある。慎重に対応したい②タンクとトイレの連動性が必要だが、設置場所の有益性等を検証したい。